

LineLazer™ 130HS エアレスラインストライパー 3A3808B JA

ラインストライプ材料の塗布用。
 一般用途には使用しないでください。
 屋外使用専用。
 爆発性雰囲気または危険区域では使用しないでください。
 最大運転圧力 3300 psi (22.8 MPa, 228 bar)

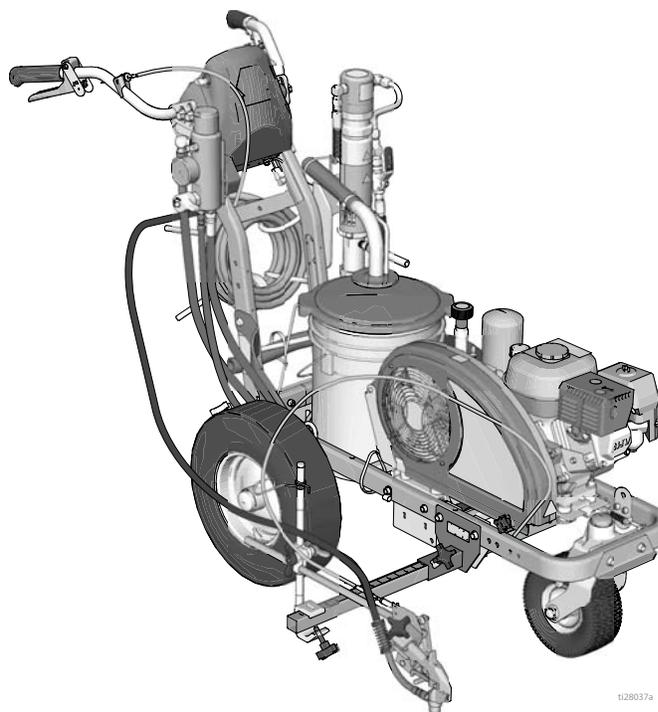


重要な安全上の説明

この取扱説明書および関連する説明書に記載されている警告と説明をすべてお読みください。
 装置のコントロールと適切な使用方法を熟知してください。
 これらの説明書は保管してください。

LineLazer 130HS		
モデル:	標準 1 手動ガン	標準 2 手動ガン
17H447	✓	
17H448		✓

関連の説明書:	
3A3391	部品
311254	ガン
311845	ポンプ



t128037a

Graco 純正交換部品のみを使用してください。
 純正ではない Graco 交換部品を使用すると保証の対象外になります。



目次

目次	2	清掃	17
警告	3	保守	18
チップの選択	6	LineLazer 130HS	18
構成部品の識別記号 (LL 130HS)	7	トラブルシューティング	19
接地手順		油圧オイル／フィルタ交換	21
（引火性フラッシング流体のみ）	8	取り外し	21
圧力解放手順	8	設置	21
セットアップ／始動	9	技術データ	22
SwitchTip とガードアセンブリ	11	注記	23
ガンの配置	12		
ガンを取り付けます。	12		
ガンの位置調整。	12		
ガンの選択	12		
ガンの位置のチャート	13		
ガンアームマウント	14		
ガンの位置の変更			
（前後）	14		
ガンの位置の変更			
（左右）	15		
設置	15		
ガンケーブルの調整	15		
直線の調整	16		
ハンドルバーの調整	16		

Graco 標準保証 24 警告

次の警告は、この機器のセットアップ、使用、接地、整備と修理に関するものです。感嘆符の記号は一般的な警告を、危険記号は手順に固有の危険性を表します。これらの記号が、本取扱説明書の本文または警告ラベルに表示されている場合には、これらの警告を参照してください。このセクションにおいて扱われていない製品固有の危険記号および警告が、必要に応じて、この取扱説明書の本文に示されている場合があります。

警告

   	<p>火災と爆発の危険性</p> <p>作業場に、溶剤や塗料の気体のような可燃性の気体が存在すると、火災や爆発の原因となることがあります。装置を通して流れているペンキや溶剤は静電火花の原因となることがあります。火災や爆発を防ぐには、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 十分換気された場所でのみ使用するようしてください。 • エンジンの運転中または熱い間は、燃料タンクに燃料を入れないでください。エンジンを停止して冷却させてください。燃料は引火性であり、熱した面にこぼれた場合、引火または爆発する恐れがあります。 • 表示灯、タバコの火、懐中電灯、プラスチック製ドロップクロス（静電気放電が発生する恐れのあるもの）などのすべての着火源は取り除いてください。 • 作業場にあるすべての装置を接地してください。接地の説明を参照してください。 • 溶剤のスプレーや洗浄は決して高圧では行わないでください。 • 溶剤、布、およびガソリンなどの不要な物を作業場に置かないでください。 • 引火性の気体が充満している場所で、電源プラグの抜き差しや電気スイッチのオン / オフはしないでください。 • 接地したホースのみを使用してください。 • 容器中に向けて引金を引く場合、ガンを接地した金属製ペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電気防止または導電性でない限り、ペールライナーは使用しないでください。 • 静電気火花が生じた場合、または感電したと感じた場合、操作を直ちに停止してください。問題を特定し、解決するまでは、機器を使用しないでください。 • 作業場に消火器を置いてください。
    	<p>皮膚への噴射の危険性</p> <p>高圧スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす可能性があります。皮膚への噴射が起こった場合は、直ちに外科的処理を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 人間もしくは動物に向かってガンやスプレーを発射しないでください。 • 手やその他の体部位を噴射部分に近づけないでください。たとえば、身体のいかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。 • ノズルチップガードを常に使用してください。ノズルチップガードが所定位置にない場合は、スプレーしないでください。 • Graco のノズルチップをご利用ください。 • ノズルチップの洗浄および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを洗浄のために取り外す前に、圧力開放手順に従って、装置の電源をオフにして圧力を解放してください。 • 装置は電源切断後も圧力を維持します。装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで放置しないでください。装置が無人であったり使用されていない場合は、稼働、クリーニング、またはパーツの取り外しを行う前に、圧力解放手順に従ってください。 • ホースと部品に損傷の兆候があるかを確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。 • 本システムには 3300 psi の圧力を発生する能力があります。最低 3300 psi の定格を持つ Graco 製の交換部品や付属品を使用してください。 • スプレーを中断するときは、引き金ロックを掛けてください。引き金ロックが正しく機能しているか確認してください。 • 装置を操作する前に、すべてしっかりと接続されている事を確認してください。 • 装置を素早く停止する方法、圧力を開放する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。



警告

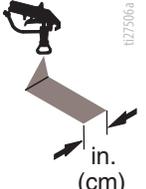
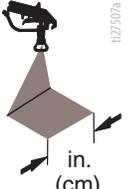
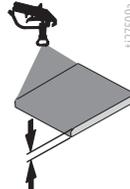
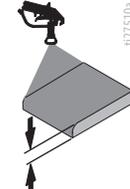
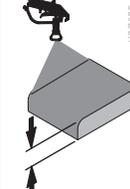
	<p>一酸化炭素の危険性</p> <p>排気には、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸引すると、死亡する恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 密閉した場所で操作しないでください。
  	<p>装置誤用の危険性</p> <p>装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 疲労しているとき、薬物を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。 システム内で耐圧または耐熱定格が最も低い部品の、最高作業圧力または最高作業温度を超えないようにしてください。すべての機器取扱説明書の技術データを参照してください。 装置の接液部に適合する流体または溶剤を使用してください。すべての機器取扱説明書の技術データを参照してください。流体と溶剤の製造元の警告を参照してください。使用している化学物質に関する詳しい情報については、販売代理店または小売店から安全データシート（SDS）を取り寄せてください。 装置に電源が入っている間、または装置が加圧されている間は作業場を離れないでください。 装置の使用を終了する場合は、すべての装置の電源を切断し、圧力解放手順に従ってください。 装置は毎日点検してください。磨耗または破損した部品は、メーカー純正の交換用部品のみを使用し、直ちに修理または交換してください。 装置を改造しないでください。装置を改造または変更すると、担当機関からの承認が無効になり、安全上の問題が生じる場合があります。 すべての装置が、それらを使用する環境に適した定格であり、承認されていること確認してください。 装置は定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。 ホースとケーブルは通路、鋭利な先端、可動部品、高温の表面から離してください。 ホースをねじったり、過度に曲げたり、ホースを引っ張って装置を引き寄せたりしないでください。 子供や動物を作業場から遠ざけてください。 適用されるすべての安全に関する規制に従ってください。
	<p>加圧状態のアルミニウム部品の危険性</p> <p>加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、致死や重傷、物的損害を引き起こす可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素系溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。 漂白剤を使用しないでください。 その他の液体の多くは、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、材料製造元にお問い合わせください。
  	<p>可動部品の危険</p> <p>可動部品は指や身体の一部をはさんだり、切断したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 可動部品に近づかないでください。 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。 装置に圧力がかかると、警告なしに起動することがあります。装置を点検、移動、整備する前には、圧力解放手順に従い、すべての電源の接続を外してください。
	<p>巻き込みの危険性</p> <p>回転している部品は、重傷事故を引き起こす可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 可動部品に近づかないでください。 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。 操作中はゆるい衣類や装飾品を着用しないでください。また、長髪である場合も操作しないでください。 装置は、突然（前触れもなく）始動することがあります。装置を点検、移動、整備する前には、圧力解放手順に従い、すべての電源の接続を外してください。



警告

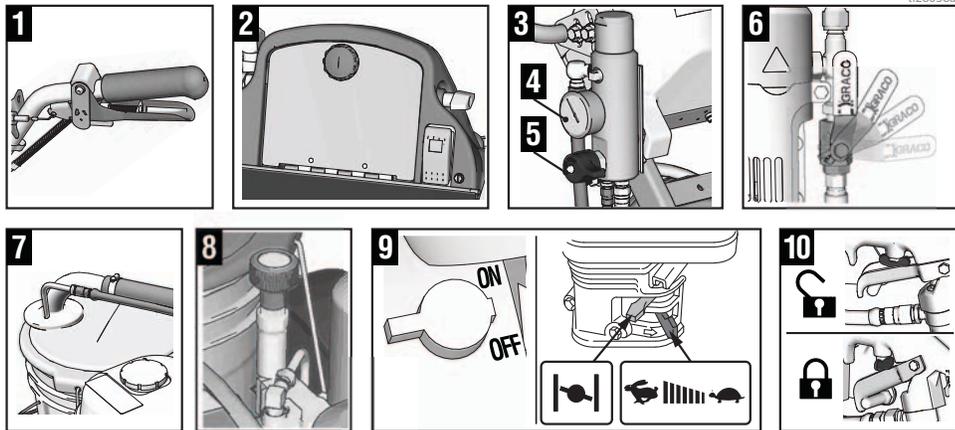
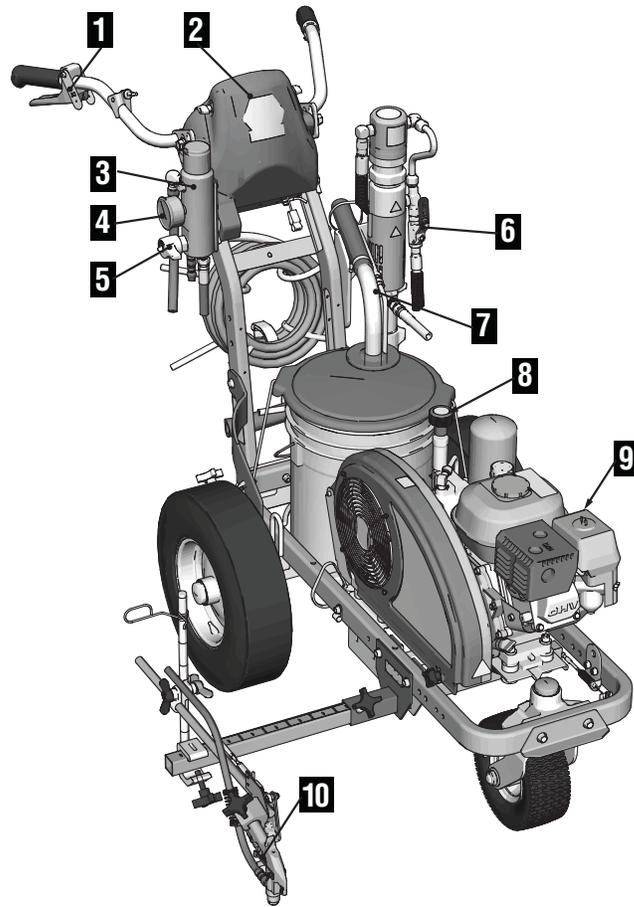
	<p>有毒な流体または気体の危険性</p> <p>有毒な流体や気体が目に入ったり皮膚に付着したり、吸込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全データシート (SDS) を参照して、使用している流体固有の危険性を覚えておいてください。 有毒な流体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用される指針に従ってください。
	<p>火傷の危険性</p> <p>加熱された装置表面および流体は、操作中非常に高温になります。重度の火傷を避けるため、以下のことを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高温の流体や装置に触らないでください。
	<p>個人用保護具</p> <p>作業場にいる際には、目のけが、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む重傷事故から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。この保護具には以下のものが含まれますが、これら以外のものもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護めがねと耳栓。 流体および溶剤の製造元が推奨するレスピレーター、保護衣および手袋。
	<p>CALIFORNIA PROPOSITION 65</p> <p>エンジンからの排出物にはカリフォルニア州において既知のがん、先天性異常、または他の生殖系障害を引き起こす化学物質が含まれています。</p> <p>この製品は、カリフォルニア州において既知の、がん、先天性異常、または他の生殖系障害を引き起こす化学物質を含みます。使用後は手を洗ってください。</p>

チップの選択

							
	in. (cm)	in. (cm)	in. (cm)	in. (cm)			
LL5213*	2 (5)				✓		
LL5215*	2 (5)					✓	
LL5217		4 (10)				✓	
LL5219		4 (10)					✓
LL5315		4 (10)			✓		
LL5317		4 (10)			✓		
LL5319		4 (10)				✓	
LL5321		4 (10)				✓	
LL5323		4 (10)				✓	
LL5325		4 (10)					✓
LL5327		4 (10)					✓
LL5329		4 (10)					✓
LL5331		4 (10)					✓
LL5333		4 (10)					✓
LL5335		4 (10)					✓
LL5355		4 (10)					✓
LL5417			6 (15)		✓		
LL5419			6 (15)		✓		
LL5421			6 (15)		✓		
LL5423			6 (15)			✓	
LL5425			6 (15)			✓	
LL5427			6 (15)			✓	
LL5429			6 (15)			✓	
LL5431			6 (15)				✓
LL5435			6 (15)				✓
LL5621				12 (30)	✓		
LL5623				12 (30)	✓		
LL5625				12 (30)	✓		
LL5627				12 (30)	✓		
LL5629				12 (30)	✓		
LL5631				12 (30)		✓	
LL5635				12 (30)		✓	
LL5639				12 (30)			✓

*100 メッシュフィルターを使用して、チップのつまりを減らしてください。

構成部品の識別記号 (LL 130HS)



1	手動スプレーガントリガー
2	保管ボックス
3	フィルター
4	圧力計
5	吸込み / 圧力解放バルブ

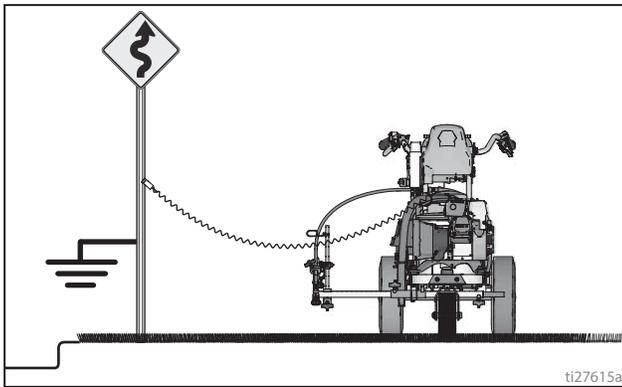
6	ポンプ ON/OFF レバー
7	ドレインおよびサイフォンチューブ
8	圧力コントロール
9	エンジン ON/OFF スイッチ
10	引き金の安全装置

接地手順

（引火性フラッシング流体のみ）

<p>静電気スパークや感電による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。静電気による火花によって、ガスの引火または爆発を引き起こす危険性があります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。</p>				

1. タイヤが舗装上にないように、ストライパーの位置を調整してください。
2. ストライパーは接地クランプが付属した状態で発送されます。接地クランプは接地されている物体に接続する必要があります（例：金属製の道標）。



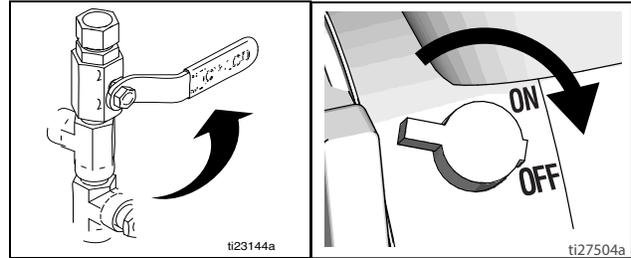
3. 洗浄が完了した後で、接地クランプを外します。

圧力解放手順

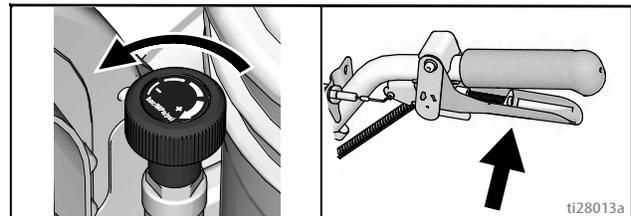
<p>本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、ディスペンス停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放に従ってください。</p>				

1. 引火性の材料を使用する場合は、**接地手順**を実行してください。

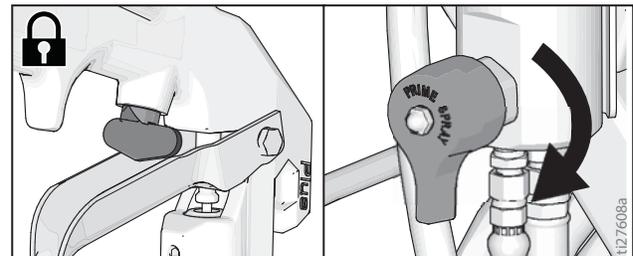
2. スイッチをオフにします。エンジンをオフにします。



3. 圧力コントロールを最低設定まで回します。すべてのガンのトリガーを引いて圧力を開放します。



4. すべてのガンのトリガーロックを掛けて下さい。プライムバルブを下げます。



5. スプレーチップやホースが詰まっていたり、圧力が完全に開放されていないと思われる場合、以下の操作を行います。

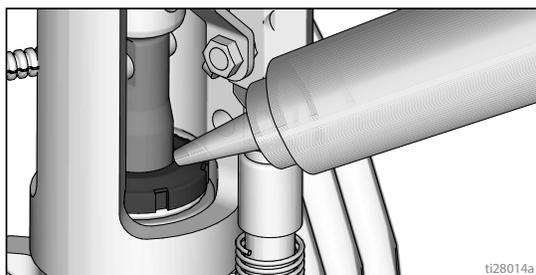
- a. チップガード保持ナットまたはホース端結合部を非常にゆっくりと緩めて、徐々に圧力を解放します。
- b. ナットまたは結合部を完全に緩めます。
- c. ホースやチップの詰まりを除去します。

セットアップ / 始動

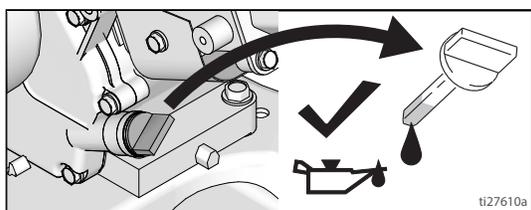


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の流体、流体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、スプレー停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放手順に従ってください。

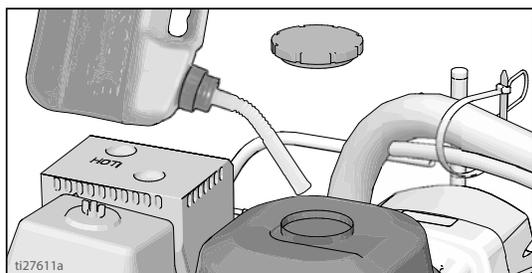
1. 圧力解放手順、8 ページを実行します。
2. 引火性の材料を使用する場合は、**接地手順（引火性フラッシング流体のみ）**、8 ページを実行してください。
3. パッキングの早期磨耗を防ぐため、スロートパッキングナットにスロートシール液（TSL）を満たします。



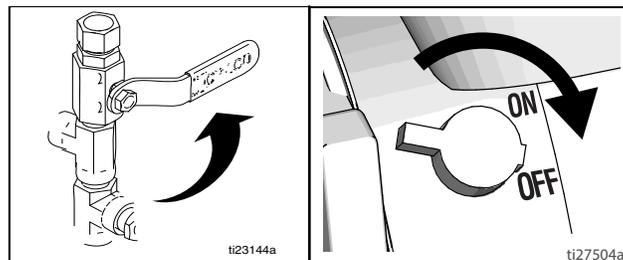
4. エンジンオイル量を点検します。SAE 10W-30（夏）または 5W-30（冬）を追加します。エンジン説明書を参照してください。



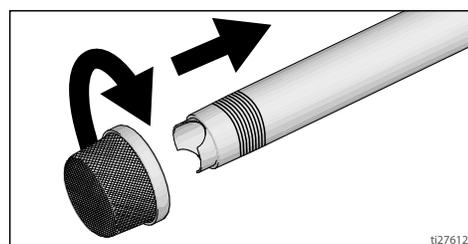
5. 燃料タンクに注油します。



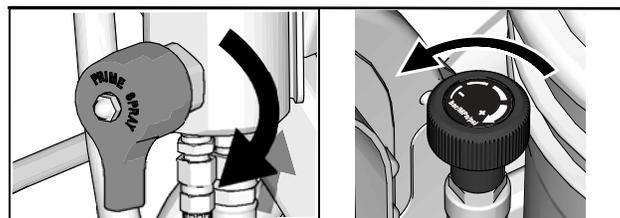
6. スイッチをオフにします。



7. 取り除かれている場合、ストレーナを取り付けます。

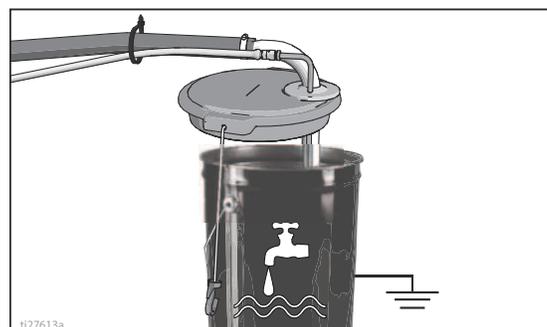


8. プライムバルブを下げます。圧力コントロールを反時計回りに回し、最低圧の位置にします。



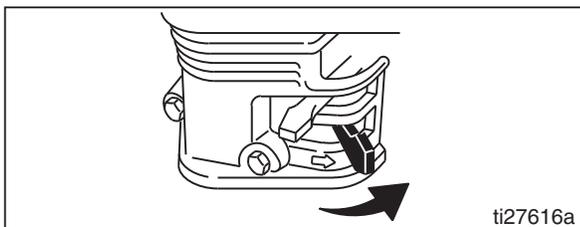
注：適切なスプレーヤの動作を提供する最小許容ホースサイズは、LL130HS の場合、3/8 インチ x 22 フィートです。

9. 洗浄用液体で部分的に満たされた接地済み金属缶にサイフォンチューブを入れます。接地線を接地します。水性塗料を洗浄する場合は水を使用し、油性塗料およびストレージオイルの場合は、ミネラルスピリッツを使用します。

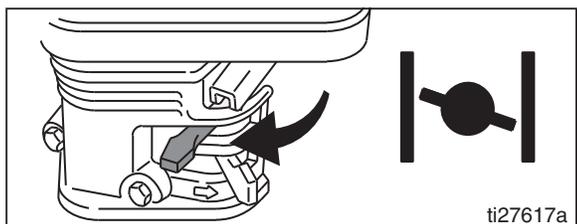


10. エンジンを始動させます。

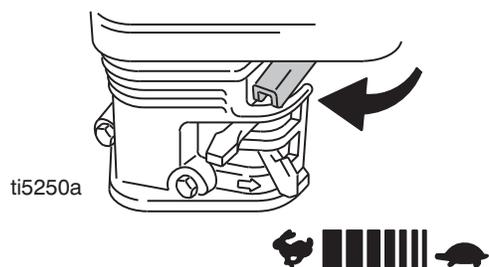
a. 燃料バルブを「開く」の位置にします。



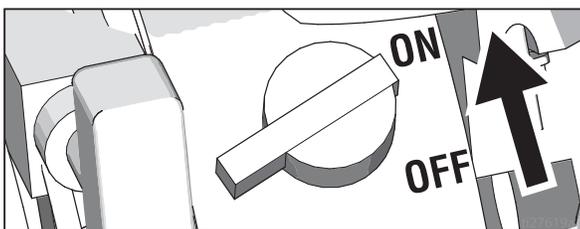
b. チョークを「閉じる」の位置にします。



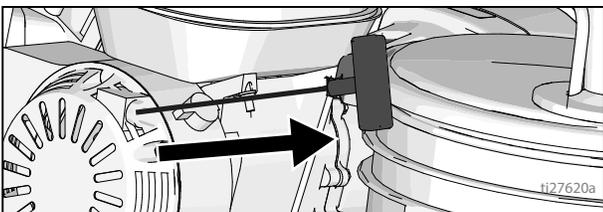
c. スロットルを「高速」の位置まで回します。



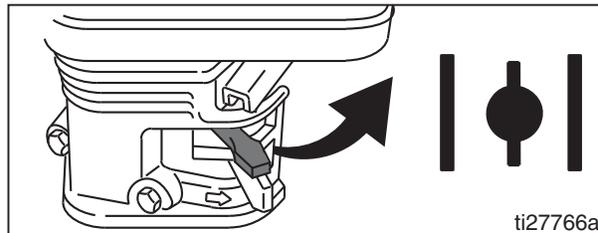
d. エンジンスイッチをオンにします。



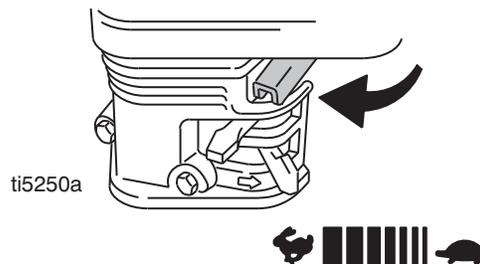
e. スタータコードを引きます。



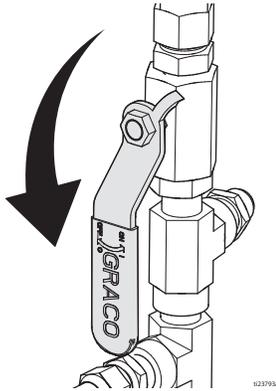
11. エンジン始動後、チョークを「開く」の位置にします。



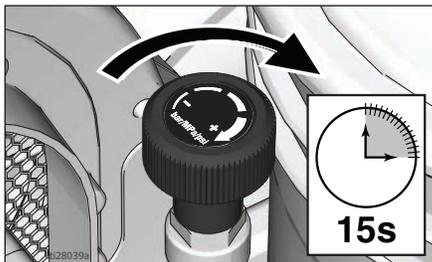
12. スロットルを希望の設定にセットします。



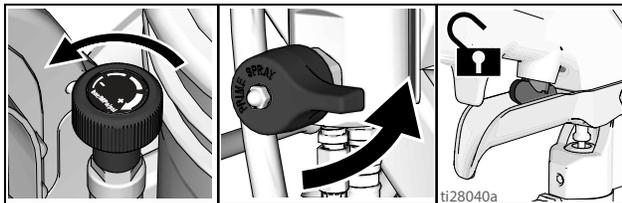
13. ポンプスイッチをオンにします（ポンプはこれでアクティブになります）。



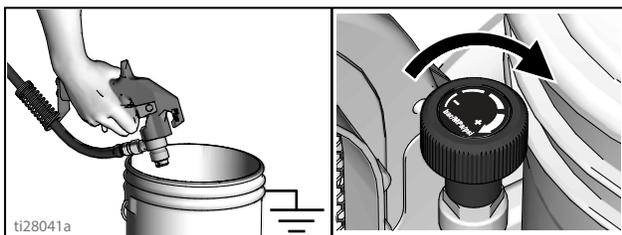
14. 圧力コントロールをポンプの始動に十分な程度に増加させます。液体を 15 秒間循環させます。



15. 圧力を下げ、プライムバルブを水平位置にします。ガン引き金ロックを外して下さい。



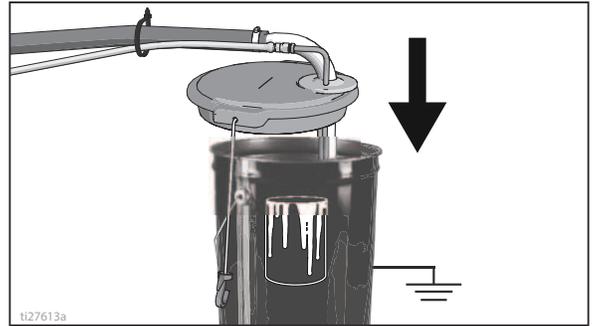
16. ガンを接地した金属製洗浄用容器に押し付けます。ガンのトリガーを引き、ポンプがスムーズに作動するまで液圧を上昇させます。



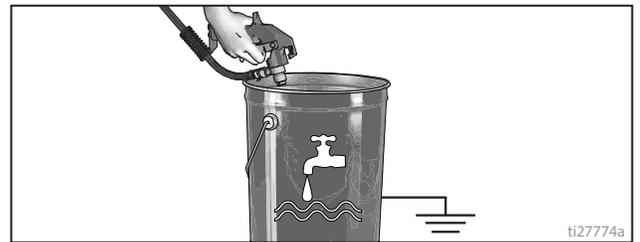
高圧スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす可能性があります。手や雑巾で漏れを止めようとししないでください。

17. フィッティングに漏れがないか点検します。漏れが生じた場合は、スプレーヤをすぐにオフにしてください。圧力解放手順を実行します。漏れのある取り付け金具を締めます。セットアップ / 始動手順 1 ~ 7 を繰り返します。漏れがない場合、システムが完全に洗浄されるまでガンのトリガーを引き続けます。手順 18 に進みます。

18. 塗料缶の中にサイフォンチューブを入れます。

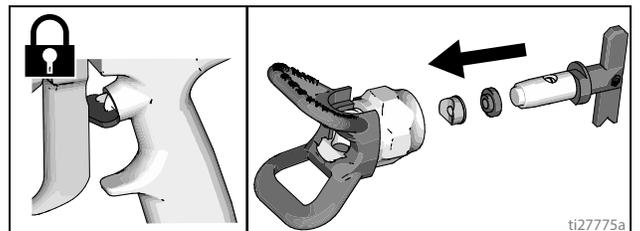


19. 塗料が出て来るまで、再度洗浄液容器の中に向けてガンのトリガーを引きます。チップとガードを組み付けます。

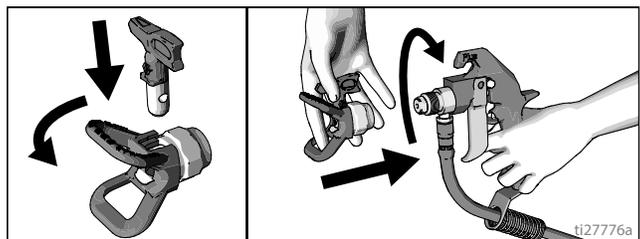


SwitchTip とガードアセンブリ

1. 引き金をロックします。SwitchTip の端を使用して OneSeal をカーブ適合チップボアでチップガード に押し込みます。



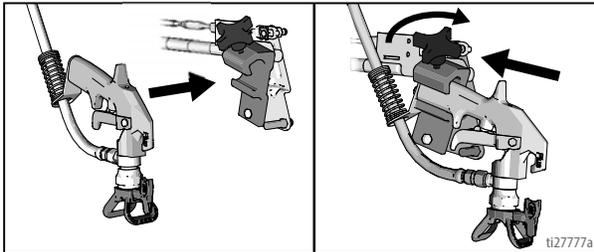
2. SwitchTip をチップボアに挿入して、アセンブリをガンにしっかりとねじ込みます。



ガンの配置

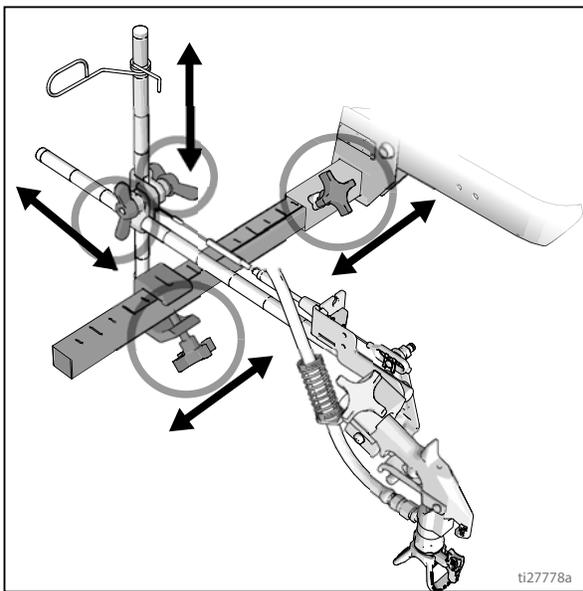
ガンを取り付けます。

1. ガンをガンホルダーに挿入します。クランプを締めます。

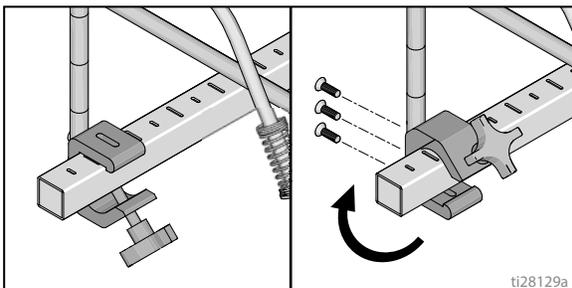


ガンの位置調整。

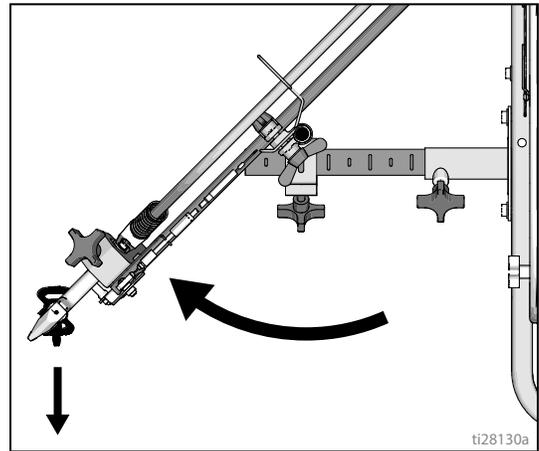
2. ガンの位置を上下、前後、左右に調整します。例については、**ガンの位置の変更（前後）**、14 ページと**ガンの位置の変更（左右）**、15 ページを参照してください。



注：縁石の上でストライピングを行う場合、邪魔にならないように取り付けクランプを回転させることができます。

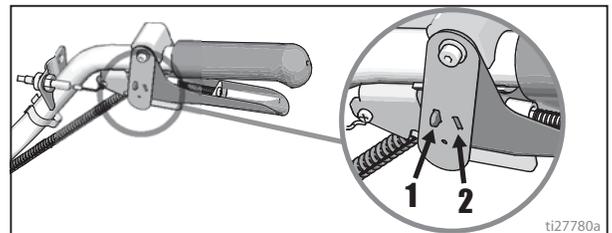


あるいは、ガンを傾けて、チップガードを回転させるという選択肢もあります。これにより、使用者にとって見やすくなります。



ガンの選択

3. ガンケーブルを左または右のガンセクタプレートに接続します。



- a. 1つのガンを使用：1つのガンのセクタプレートを引き金から外します。



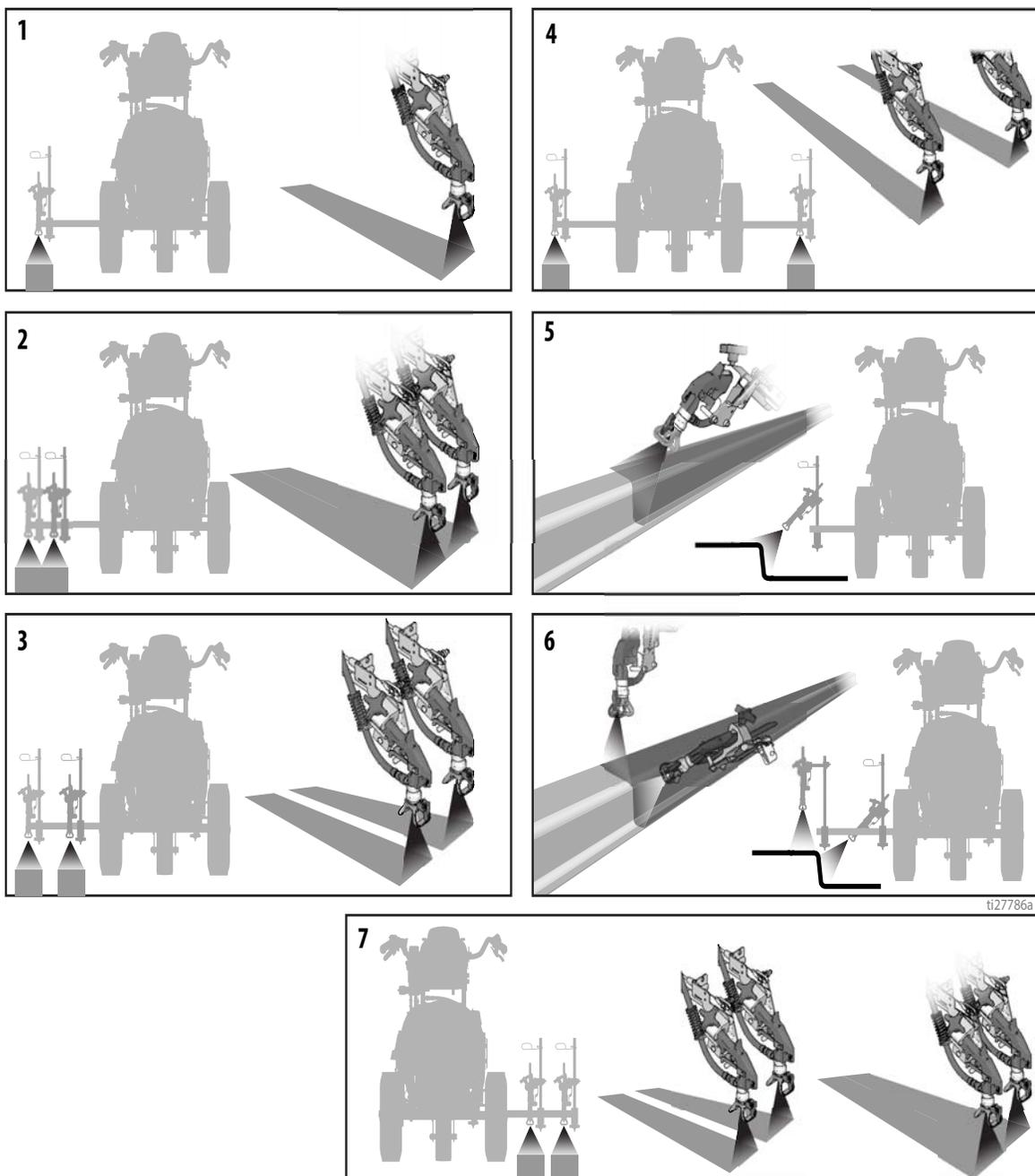
- b. 両方のガンを同時に使用：両方のガンのセクタプレートを同じ位置に調整します。



- c. 実線 - 破線および破線 - 実線：実線ガンを位置1に、破線ガンを位置2へ調整します。



ガンの位置のチャート

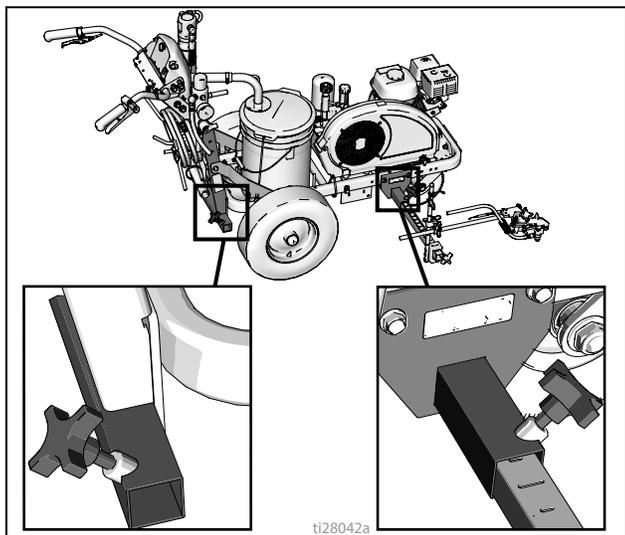


ti27786a

1	1 線
2	1 線、最大 61 cm (24 インチ) の幅
3	2 線
4	障害物の周囲にスプレーする 1 線または 2 線
5	1 ガン、縁石
6	2 ガン、縁石
7	1 線または 2 線、最大 61 cm (24 インチ) の幅

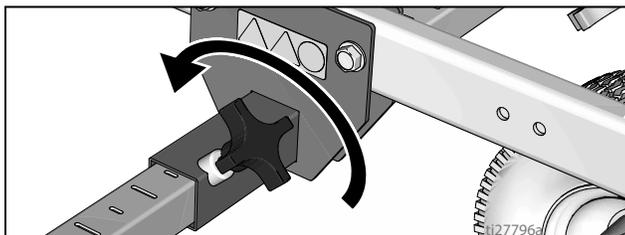
ガンアームマウント

本装置には、前部ガンアームマウントが備えられています。

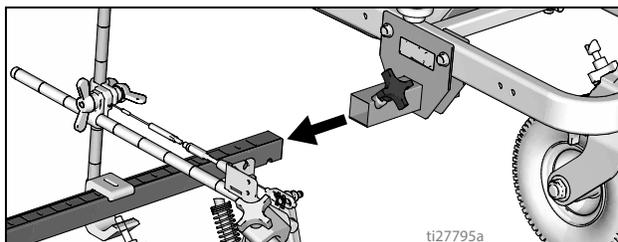


ガンの位置の変更 (前後)

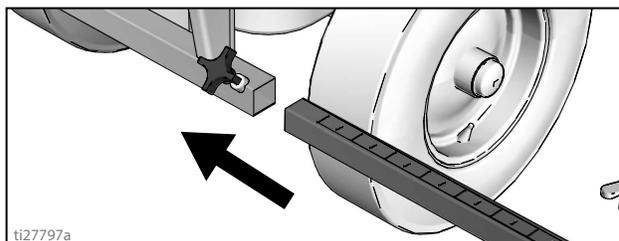
1. ガンアームノブを緩めて、ガンアームマウンティングスロットから取り外します。



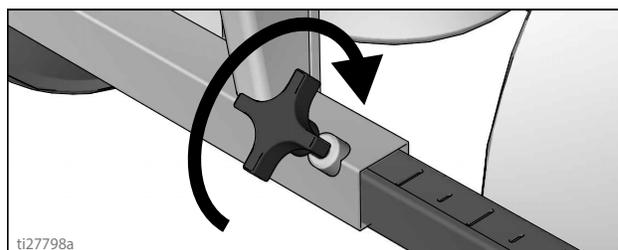
2. ガンアームアセンブリ（ガンとホースを含む）をスライドさせて、ガンアームマウンティングスロットから取り外します。



3. ガンアームアセンブリをガンアームマウンティングスロットにスライドさせて挿入します。



4. ガンアームノブをガンアームマウンティングスロットに締め付けます。



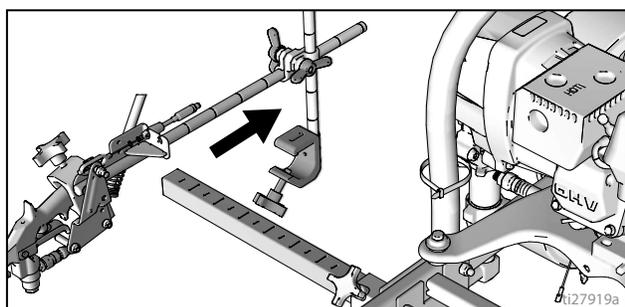
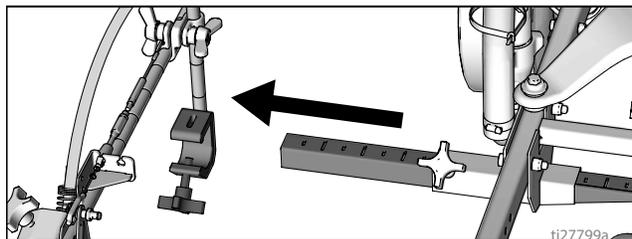
注

すべてのホース、ケーブル、ワイヤーがブラケットを通して適切に敷かれていて、タイヤに擦らないことを確認します。タイヤとの接触は、ホース、ケーブル、およびワイヤーの損傷につながります。

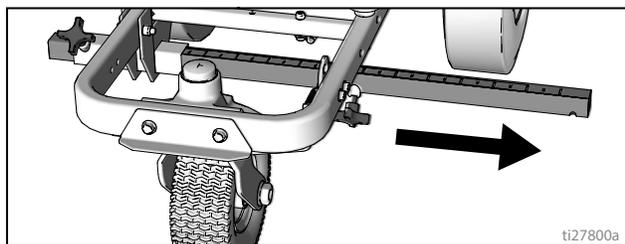
ガンの位置の変更 (左右)

取り外し

1. 垂直ガンアームマウンティングバーのガンアームノブを緩め、外します。

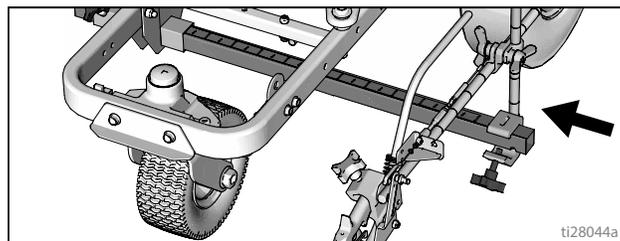


2. 垂直ガンアームマウンティングバーを機械の反対側へ伸ばします。



設置

1. 垂直ガンマウントをガンバーに取り付けます。

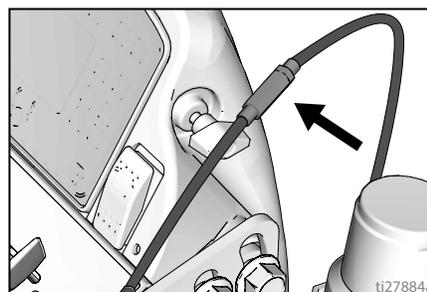


注：すべてのホース、ケーブル、ワイヤーがブラケットを通して適切に敷いてください。

ガンケーブルの調整

ガンケーブルを調整すると、トリガープレートとガントリガーの間隔が増減します。トリガーの間隔を調整するには、以下の手順に従います。

1. レンチを使用して、ケーブル調節器のロックナットを緩めます。

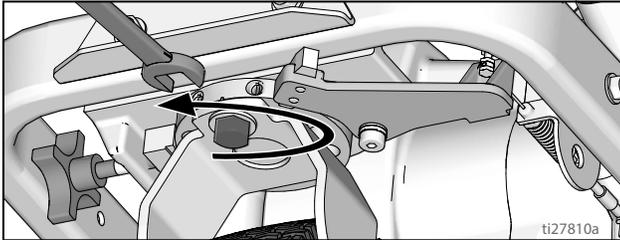


2. 必要に応じて、調節器を緩めるか、締めます。
注：より多くのネジ山が露出されると、ガントリガーとトリガープレートの間隔が少なくなることが意味します。
3. レンチを使用して、調節器のロックナットを締めます。

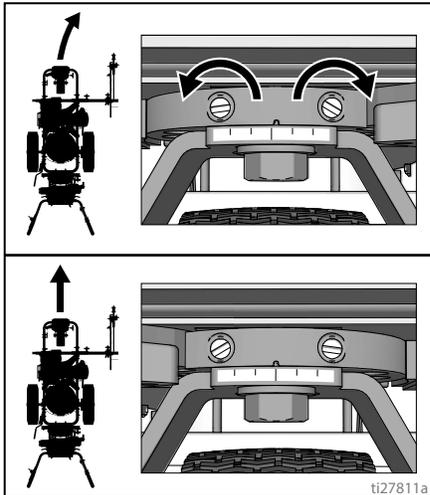
直線の調整

前輪は装置を中央に揃えるようにセットされていて、操縦者が直線を形成することを可能にします。時間とともに、ホイールがずれて、再調整が必要になる場合があります。前輪を再び中央に揃えるには、以下の手順に従います。

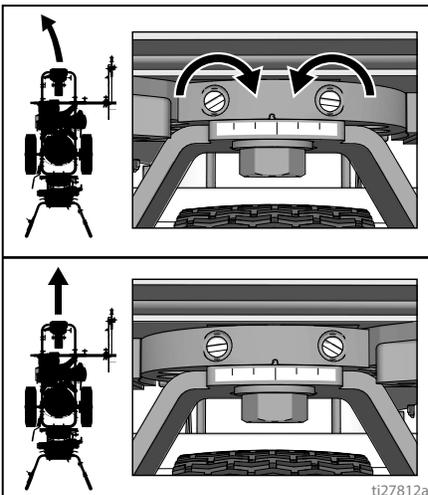
1. 前輪ブラケットのボルトを緩めます。



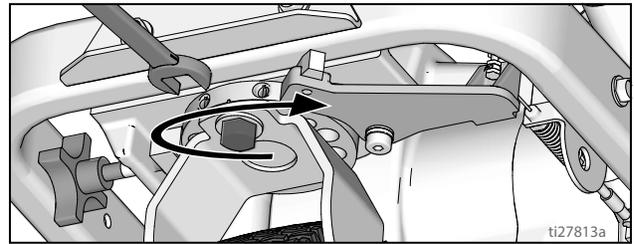
2. ストライパーが右に弧を描く場合、左のセットねじを緩め、右のセットねじを締めることで、微調整を行います。



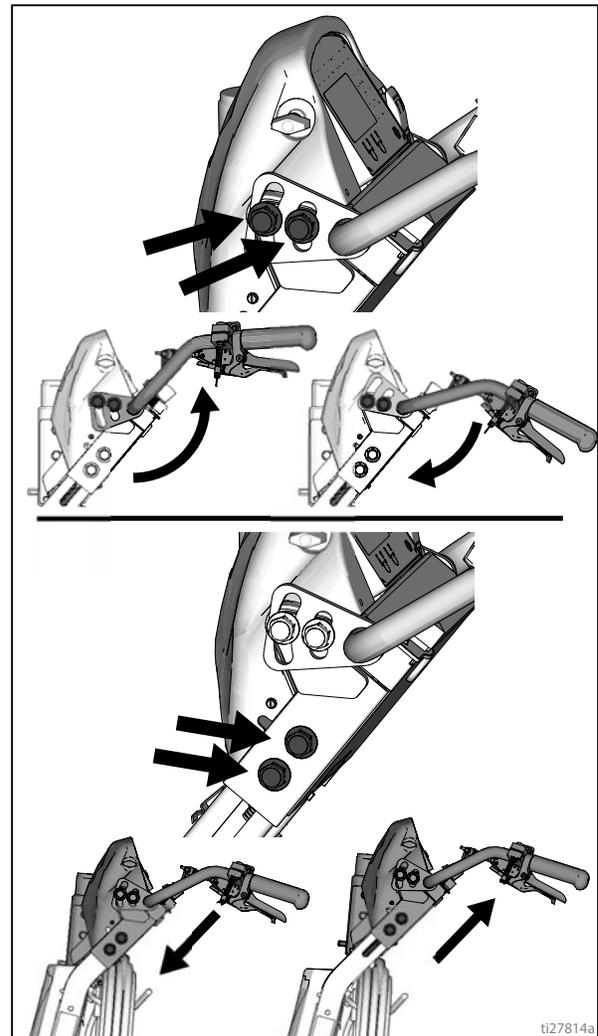
3. ストライパーが左に弧を描く場合、右のセットねじを緩め、左のセットねじを締めます。



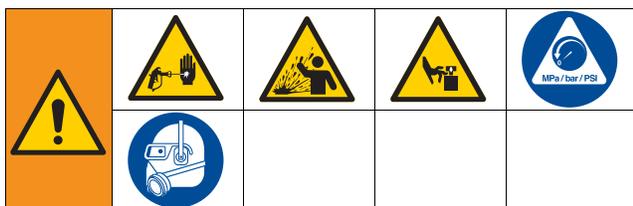
4. ストライパーを進めます。真っ直ぐにストライパーが進むまで、手順2と3を繰り返します。ホイールアライメントプレートのボルトを締めて、新しいホイール設定をロックします。



ハンドルバーの調整

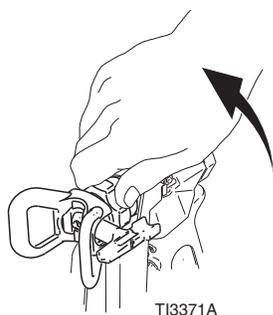


清掃

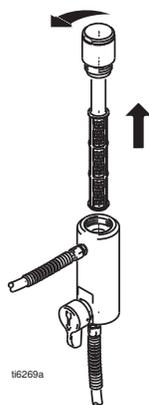


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、ディスペンス停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放に従ってください。

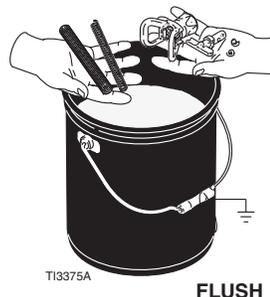
1. 圧力解放手順， 8 ページを実行します。
2. すべてのガンからガードとスイッチチップを外します。



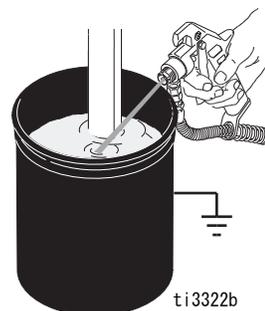
3. キャップを緩め、フィルタを外します。フィルタを付けずに組み立てます。



4. フィルタ、ガード、および SwitchTip を洗浄液に浸して洗浄します。



5. 洗浄用液体で部分的に満たされた接地済み金属缶にサイフォンチューブを入れます。接地線を接地します。始動の手順 10-16 (10 ページを参照) を実行して、スプレーヤの塗料を流し出します。水を使用して水性塗料を流し出し、ミネラルスピリッツ溶剤 (ホワイトスピリットとも呼ばれる) を使用して油性塗料を流し出します。
6. ガンを塗料バケツに押さえて、水または溶剤が現れるまでトリガーを引きます。



7. ガンを溶剤または水バケツに移動します。ガンをバケツに押さえて、システムが完全に洗浄されるまでトリガーを引きます。
8. ポンプアーマーでポンプを充填し、フィルタ、ガード、および SwitchTip を再度組み付けます。
9. スプレーと保管を行うたびに、スロートパッキンナットを TSL で充填し、パッキンの摩耗を抑えます。

保守

LineLazer 130Hs

定期保守

毎日：エンジンオイル量を点検し、必要に応じ注油します。

毎日：油圧オイル量を点検し、必要に応じ注油します。

毎日：ホースに摩耗および損傷がないか点検します。

毎日：ガンの安全装置が正常に動作するか点検します。

毎日：プライム / スプレードレインバルブが正常に動作するか点検します。

毎日：ガスタンクを確認し、注油します

毎日：置換ポンプがしっかりしまっていることを点検します。

毎日：材料のピストンロッド上での蓄積、および、パッキンの早期摩耗を防止するため、容積型ポンプのパッキンナットで TSL を満タン以上に入れます。

運転開始から 20 時間後：エンジンオイルを排出し、汚れのないオイルを注入します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

毎週：エンジンのエアフィルターカバーを取り外し、エレメントを清掃し、必要なら交換します。異常にほこりっぽい環境で運転する場合、フィルターは毎日チェックしてください。

毎週 / 毎日：油圧ロッドから異物を除去してください。

運転開始から 100 時間後：エンジンオイルを交換します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

半年に 1 回：ベルトの摩耗をチェックして、必要な場合交換します。

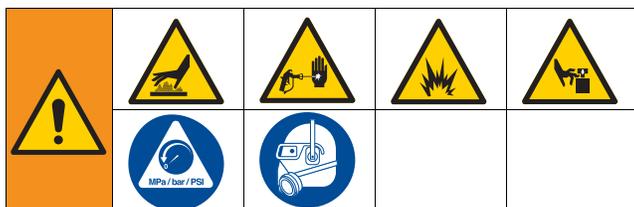
年 1 回または 2000 時間毎：油圧オイルとフィルターエレメントを Graco 油圧オイル 169236 (5 ガロン / 18.9 リットル) または 207428 (1 ガロン / 3.8 リットル) およびフィルターエレメント 246173 と交換します。ページ 21 を参照。

スパークプラグ：BPR6ES (NGK) または W20EPR-U (日本電装) プラグのみを使用してください。プラグに 0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 インチ) のギャップを作ります。プラグの取り付けおよび取り外しの際は、スパークプラグレンチを使用して下さい

キャストホイール

1. 毎年 1 回、スプリングワッシャが一番下に来るまでダストキャップを締め、ナットを 1/2~3/4 回転分元に戻します。
2. 毎月、ホイールのベアリングにグリースを塗布します。
3. ピンが磨耗していないか確認します。ピンが磨耗している場合、キャストホイールの中に遊びが生じます。必要に応じてピンを裏返すか、又は交換してください。
4. 必要に応じて、キャストホイールのアラインメントをチェックします。ページ 16 のように揃えます。

トラブルシューティング



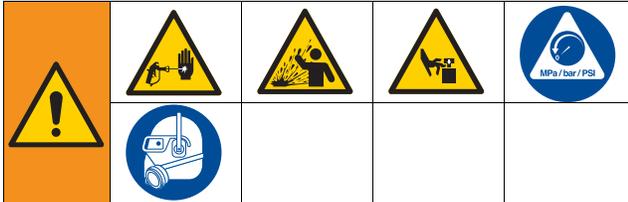
問題	原因	解決策
ガスエンジンが始動しない	油圧が高すぎる	油圧のつまみを反時計回りに回して、一番低い設定にしてください
エンジンが起動しない。	エンジンスイッチがオフです。	エンジンスイッチをオンにします。
	エンジンがガソリン切れ。	ガスタンクに再注油しますホンダエンジン取扱説明書を参照。
	エンジンオイルレベルが低い。	エンジンを始動してみます。必要に応じオイルを補充しますホンダエンジン取扱説明書を参照。
	スパークプラグケーブルが外れているか、または破損している。	スパークプラグケーブルを接続するか、またはスパークプラグを交換します。
	エンジンが冷たい。	チョークを使用します。
	燃料シャットオフレバーがオフになっている。	レバーをオンの位置にします。
	オイルが燃焼チャンバに漏れている。	スパークプラグを外します。スターターを 3、4 回引きます。スパークプラグを清掃するか、または交換してください。エンジンを始動させます。オイルが漏出しないようにスプレーヤを真っ直ぐに立てます。
エンジンは動作するが、排気ポンプが動作しない。	ポンプバルブがオフになっている。	ポンプバルブをオンにします。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力調整ノブを時計方向に回し、圧力を上げます。
	液体フィルタが汚れている。	フィルタを清掃します
	チップまたはチップフィルタが詰まっている。	チップまたはチップフィルタの汚れを除去します説明書 311254 参照
	乾燥した塗料排気でポンプピストンロッドが詰まっている。	ポンプを修理します。説明書 311845 参照
	ベルトが摩耗、故障、またはプーリーから外れています。	交換します。
	油圧作動油が少ない。	スプレーヤーを止めます液を足します*
	油圧式モータが移動しない。	ポンプのバルブをオフにします。圧力を下げる。エンジンをオフにします。油圧式ポンプが移動するまで、ロッドをてこを使って上下に動かす
置換ポンプは作動するが、アップストロークの出力が少ない。	ピストンボールが固定されていない。	ピストンボールを修理します説明書 311845 参照
	ピストンパッキンが磨耗または損傷している。	パッキンを交換してください。説明書 311845 参照
置換ポンプは作動するが、ダウンストロークの出力が少ない、および/または両ストロークとも出力が少ない。	ストレーナが詰まっている。	ストレーナの汚れを除去します。
	ポンプの O リングが磨耗または損傷している。	O リングを交換します。説明書 311845 参照
	インテークバルブボールが材料で詰まっているか、適切にシールされていない。	注入口バルブの汚れを除去します。説明書 311845 参照
	エンジンの回転数が低過ぎる。	スロットル設定を高くします
	吸引チューブの空気漏れ。	吸引チューブを締めます。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力を高くします。
	液体フィルタ、チップフィルタまたはチップが詰まっているか汚れている。	フィルタを清掃します
	粘性の高いマテリアル使用時のホースの大幅な圧力低下。	大きな直径のホースを使用するかまたはホース長を短くするか、またはその両方を行います。1/4 インチで 100 ft より長いホースを使用するとスプレーヤの性能が著しく低下します。最適な性能を得るには、3/8 インチのホースを使用します（最小 22 ft）。

*油圧液レベルを頻繁に確認してください低くなり過ぎないようにしますGraco承認の油圧液のみ使用して下さい

問題	原因	解決策
ポンプのプライムが困難。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。 エンジン回転数を下げ、プライム中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	インテークバルブに漏れがある。	注入口バルブの汚れを除去します。ボールシートに切れ目や摩耗が無く、ボールが適切に取りつけられていることを確認します。バルブを再組立します。
	ポンプパッキンが磨耗しています。	ポンプパッキンを交換します。説明書 311845 参照
	塗料の粘度が高すぎる。	塗料販売業者の推奨に従い塗料を希釈します。
	エンジン回転数が高過ぎる。	ポンプのプライムの前にスロットル設定を下げます
エンジンの無負荷回転数が高い。	スロットルの設定がうまく調整されていない。	エンジンが無負荷で 3700-3800rpm になるようにスロットルを再設定します。
	エンジンガバナが磨耗している。	エンジンガバナを交換または修理します。
低いストール圧または動作圧がディスプレイに表示されている。	新しいポンプまたは新しいパッケージ。	ポンプのならし期間では、最大 100 ガロンの材料を吸引します。
スロートパッキンナットへ塗料が大量に漏れる。	スロートパッキンナットが緩んでいる。	スロートパッキンナットスペーサを外します。漏れが止まる程度までスロートパッキンナットを締めます。
	スロートパッキンナットが磨耗または損傷している。	パッキンを交換してください。説明書 311845 参照
	排水ロッドが磨耗または損傷している。	ロッドを交換します。説明書 311845 参照
ガンから液体が出ている。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。ポンプを再度プライムします
	チップの一部が詰まっている。	チップを洗浄します。説明書 311254 参照
	液体供給が少ないか、または空になっている。	液体供給を再充填します。ポンプをプライムします。液供給の点検回数を増やし、空の状態のポンプを運転しないようにします。
油圧式モータピストンロッド・ワイバまわりに過度の漏れ。	ピストンロッド・シールの磨耗あるいは破損。	これらの部品を交換してください。
液の送量が少ない。	圧力設定が低過ぎる。	圧力を高くします。
	容積型ポンプのアウトレットフィルタ（使用済みの場合）の汚れ、詰まり。	フィルタを清掃します
	ポンプ注入口までの吸い込みラインが締っていない。	締めます。
	油圧式モータが磨耗あるいは破損している。	スプレー装置を Graco 社販売代理店まで修理の為に持ちください。
	液体ホースの圧力が大きく下がる。	直径がより大きなホースを使用するか、またはホース全長を短くします。
スプレー装置が過熱。	油圧式コンポーネントに塗料の蓄積がある。	清掃します。
	オイルの量が少ない。	オイルで満たします。
油圧ポンプの音が大き過ぎる。	油圧液が少ない。	スプレー装置を止めます液を足します*。

油圧オイル／フィルタ交換

取り外し

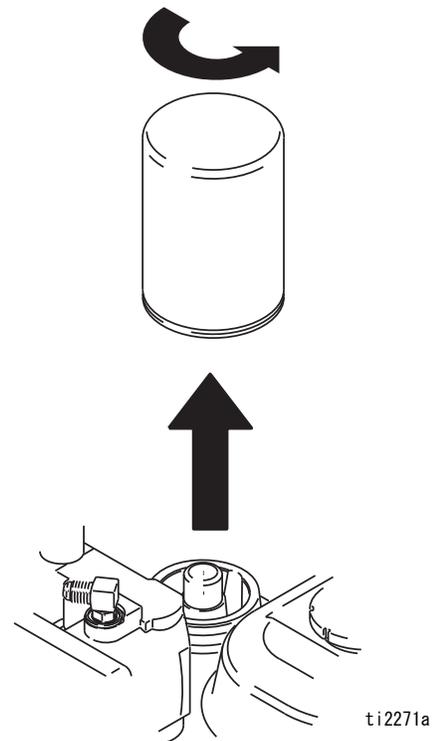


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、ディスペンス停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放に従ってください。

1. 圧力解放手順を実行します。ページ 8 を参照。
2. 油受けまたはボロ布をスプレーの下に置いて、排出される油圧オイルを受けます。
3. ドレンプラグを取り外します。油圧オイルを排出させます。
4. フィルタのネジをゆっくりと緩めます。オイルは溝に流れ込み後部から排出されます。

設置

1. フィルタガスケットに、オイルの薄い膜を適用します。ドレンプラグとオイルフィルタを取り付けます。ガスケットが底に触れてからオイルフィルタを 3/4 回転締めます。
2. 4.73 リットル (5 クォート) の Graco 油圧オイル 169236 (20 リットル / 5 ガロン) あるいは、207428 (3.8 リットル / 1 ガロン) で満たします。
3. オイルのレベルをチェックします。



ti2271a

技術データ

LineLazer 130hs		
エンジン	Honda GX120cc	
	米国	メートル
最高使用流体圧力	3300 psi	(227 bar, 22.7 MPa)
最大フリーフロー排出量	1.3 gpm	4.9 lpm
回転 / ガロン (リットル)	85 cpg	22.5 cpl
油圧リザーバー容量	1.25 ガロン	(4.73 リットル)
油圧	1825 psi	(124 bar)
最大チップサイズ		
1 ガン	0.037 インチ	
2 ガン	0.029 インチ	
ノイズ (dBa)		
音響パワー	110 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 フィート (1 m) で測定)	
振動レベル*		
左手	2.90 m/秒 ²	
右手	2.83 m/秒 ²	
* 毎日 8 時間曝露した場合の ISO 5349 に準拠した振動		
インレット/アウトレットのサイズ		
インレット塗料ストレーナ	16 メッシュ (1190 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
アウトレット塗料フィルター	50 メッシュ (250 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使用可能	
ポンプインレットサイズ	1 インチ npsm(m)	
液体排出口径	3/8 npt (f)	
寸法 / 重量		
高さ	113 cm	113.03 cm
長さ	68.25 インチ	173.36 cm
幅	34.25 インチ	87.0 cm
重量 (乾燥時、梱包を含まない)	263 lb	119 kg

接液部品：PTFE、ナイロン、ポリウレタン、V-Max™ レザー、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロムめっき、ニッケルめっき炭素鋼、セラミック

Graco 標準保証

Graco は、直接お買い上げ頂けたお客様のご使用に対し、販売日時から、本ドキュメントに記載された、Graco が製造し、かつ Graco の社名を付したすべての装置の材質および仕上がりに欠陥がないことを保証します。Graco により公表された特殊的、拡張的または制限的保証を除き、販売日時から起算して 12 ヶ月間、Graco により欠陥があると判断された装置の部品を修理、交換致します。本保証は、Graco の明示の推奨に従って、装置が設置、操作、および保守されている場合にのみ有効です。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切な保守、怠慢、事故、改ざん、または Graco 製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な消耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本保証の範囲外であり、Graco は一切責任を負わないものとします。また、Graco の装置と Graco によって提供されていない機構、付属品、装置、または材料の不適合、あるいは Graco によって提供されていない機構、付属品、装置、または材料の不適切な設計、製造、取り付け、操作または保守が原因で発生した誤動作、損傷、または摩耗については、Graco は一切責任を負わないものとします。

本保証は、Graco 認定販売代理店に、主張された欠陥を検証するために、欠陥があると主張された装置が支払済みで返却された時点で、条件が適用されます。主張された欠陥が確認された場合、Graco はすべての欠陥部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げ頂けたお客様に返却されます。装置の検査により材質または仕上がりの欠陥が明らかにならなかった場合は、修理は妥当な料金で行われます。料金には部品、労働、および輸送の費用が含まれる可能性があります。

本保証は、明示または暗示に関わらず特定目的に対する商用性および適合性の保証を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）その他の保証の代わりとします。

保証違反に対して Graco が負う唯一の義務、および購入者への補償は、上記で示された通りとします。購入者は、他の補償（利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失を含むがこれに限定されるものではない）は得られないものであることに同意します。補償違反に関連するいかなる行為は、販売日時から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

Graco によって販売されているが、製造されていない付属品、装置、材料、または部品に関しては、Graco は保証を負わず、特定目的に対する商用性および適合性のすべての黙示保証は免責されるものとします。 Graco が販売するが製造しない製品（電動モーター、スイッチ、ホースなど）は、製造業者の保証の対象になります。Graco は、これらの保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、補償違反、Graco の不注意、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

Graco 情報

Graco 製品についての最新情報は、www.graco.com をご覧ください。

特許の情報については、www.graco.com/patents をご覧ください。

Graco 製品のご注文は、Graco 販売代理店をお問い合わせするか、または電話して最寄りの販売代理店を特定してください。

本文書に含まれるすべての書面データおよび視覚データは公開時に入手できる最新の製品情報を反映しています。
Graco はいつでも予告なしに内容を変更する権利を有します。

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 3A3392

Graco 本社：ミネアポリス

海外拠点：ベルギー、中国、日本、韓国

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA
Copyright 2016, Graco Inc. Graco のすべての製造場所は ISO 9001 に登録されています。

www.graco.com

改訂版 B, 4 2 0 1 8